野外劇
プレイベント
上演！

関門海峡ミュージアム エントランス前広場にて

1 野外劇団　楽市楽座

「ツバメ恋唄」「鏡池物語」
「金魚姫と蛇ダンディー」 紙芝居街頭劇もあるよ！

9月29日㈭～10月2日㈰

→詳しくは4ページをご覧下さい。

大阪

大正100年記念 海峡 Kaikyo engekisai 演劇祭

北九州市の観光名所「門司港レトロ地区」に2003年、関門海峡 ミュージアム（海峡ドラマシップ）が開館しました。その中に、旧YMCA門司港ブランチのデザインを 再現した多目的ホールがあります。ここを新たな文化の発信地として位置づける中で「演劇」というフィジカル（身体的）なコミュニケーションを中心とした「海峡演劇 祭」を2010年から始動させました。

海と平和のドラマフェス

プレイベント以外、会場はすべて多目的ホールとなります

2 海峡プロジェクト

ピースリーディング「冬の兵士」

10月15日㈯ 開演 16:30
10月16日㈰ 開演 13:00／16:00

◎入場料（日時指定・自由席）前売り・当日とも　1500円
展示ゾーンチケット付き:1650円

東京×北九州

2004年に発足した反戦イラク帰還兵の会（IVAW）は、2008年3月、「冬の兵士」と題した公聴会を開催しました。このピースリーディングは、多くの兵士が戦場の真実を告発したその証言集をもとに、かつて軍港として多くの兵士たちを戦場に送り出した門司港の地で、今も世界のあちこちで起きている戦争・紛争・基地の問題・核エネルギーの問題と私たちの暮らしとの関係、過去・現在から続く（であろう）未来のことを考える作品です。東京で活動する劇団HOTSKYと北九州在住の表現者たちとの共同創作による この作品を海峡プロジェクトと題し、観客の皆さまとともに、「海（世界）の向こう」にあるものについて考える時間を共有したいと願います。

非戦を選ぶ演劇人の会

2003年2月14日、平和を願う演劇人が集まり、日本の有事法制や、国連各国の反対を押し切ってイラクの国土とイラク人への攻撃を宣言したアメリカとそれを支持した日本政府に対し、「対話を重視し、武力による外交手段に反対すること」「人権を軽視する法案に反対すること」「戦争に反対すること」が呼びかけ文として作られ、多くの演劇人の賛同を得、「イラク攻撃と有事法制に反対する演劇人の会」として活動を始めました。イラク攻撃後も継続的に平和の願いを表現していくために、ピースリーディングを続けています。

■ http://hisen-engeki.com/index.htm

●【構成・演出】釘本光（劇団HOTSKY　主宰／非戦を選ぶ演劇人の会）
●【出演】山口恭子（演劇作業室　紅生姜）／倉地久美夫／吉田幸弘／藤井邦博（魚座）／山中弘幸／中川裕可里（飛ぶ劇場）／つかのみき（horamiriダンス研究所）／他

3 垣内美希

『草のかんむり』

10月22日㈯／10月23日㈰

開演 15:00（上演60分）

◎入場料1000円／展示ゾーンチケット付き:1200円

北九州

昨年「小さなクラゲの踊り」という小作品を発表した。本作品はこれを含んだものである。復員船から水葬された死者の霊を慰める踊りを踊ったという大野一雄へのオマージュ。海に洗われひからびた死者と共に記憶をたどる旅の話し。わたしは葬送の場を訪ねて静かに耳を傾ける。「死」そのものが語るわたし自身の思いを聴く。

●【作・演出・出演】垣内美希

垣内美希

1998年表現集団万華鏡に入団し、舞踏を山野井清仁に師事。2000年に退団しフリーでライブ活動を展開。ジャンルを問わない様々なアーティストとコラボレーションする。2002年秋、大野一雄の踊りに強い感銘を受ける。主な舞踏作品は「小さなわたし」「沃土」「のびるしくみ」など。自分のからだの実感を通して世界と対話し、正直で誠実な踊りを心がけている。

神戸

5 広っぱratta

『kamiとのくらし』

11月5日㈯

開演 15:00（上演60分）

◎入場料：一般2000円／中学生まで1000円
展示ゾーンチケット付き:
一般2100円／中学生まで1050円

毎年多くの千羽鶴が寄せられる広島。世界中から届く千羽鶴は、広島に何を求めるのか。それはもちろん「平和」。しかし、この平和はどんなものなのか。戦争がなくなれば平和なのか…。一人一人にとっての平和を形にするでなく、平和=広島=千羽鶴と、一身に世界の「平和のイメージ」を背負う広島。そして大量の千羽鶴を背負う「女の子」。"原爆の子の像" の下では、ガイドが今日も言うだろう。「1000羽達成することなく12歳という若さで亡くなった少女、佐々木禎子さん…」しかし実際の禎子さんは1000羽どころか1500羽近くの鶴を折っている。美化され伝わる話に私たちは踊らされてきた。今こそ、逞しく生きた彼女の力を借りて、「生きること」の意味を舞台に広げる。

●【作・演出・出演】清水章代
【演奏】Kackey@dabigtree

清水章代

14年在籍した神戸の劇団からフリーになり、パントマイムやダンスを盛り込んだ一人芝居スタイルをHaptmai-m（ハプトマイム）と名付け、いろんなジャンルのアーティストと劇場以外の場所に積極的に出て公演を行って8年目になる。舞台以外にも、年齢に合わせたワークショップを公民館からカフェや老人ホームに至るまで、場所に合わせたワークショップ「表現ひろば」を展開。3.11後、被災地にも通う。今回の作品は、アフリカのパーカッション：ジェンベを叩き歌うシンガーソングライターKackey@dabigtreeとのコラボ作品。

4 ミクロドロップ

『しぃちゃんのネリネ』

10月30日㈰

開演 14:00／16:30（上演50分）

◎入場料1500円／展示ゾーンチケット付き:1650円

福岡

世界中の色々なところで、たたかいが続いているように、しぃちゃんの家の中でも、お父さんと、お母さんが、たたかいを続けていました。お母さんは、いつも、泣いていました。お父さんは、いつも、怒っていました。しぃちゃんは笑うことにしました。しぃちゃんは、このたたかいが終わって、みんなが仲良くできる事を信じていました。ある日、しぃちゃんに、友達ができました。その友達は、どうやら、ここではないどこかから来たようです。友達は、しぃちゃんに、ひとつの事を教えてくれるのです…。

【作・演出】太田美穂
【出演】山崎詩歩／猪山槙哉／ひろみ／伏見健二

ミクロドロップ

2001年に設立した、福岡を拠点に活動する劇団です。劇団名には、「未来への路をつくりたい」という願いが込められています。公演以外でも、心とコミュニケーションをテーマとした演劇体験講座を、定期的に行っています。作品にはいつも、世界に溢れる小さな悲しみが描かれています。その悲しみを通して、生きていることへの愛しさを感じてもらえたらと思っています。人と人との出会いを大切に。あなたと出会える事を、楽しみにしています。